

2026 年 7 月 29 日

各 位

株式会社 北海道銀行

鹿追町と株式会社バイウィルとの 森林 J-クレジットに関する連携協定の締結について

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、北海道鹿追町（町長 喜井 知己、以下「鹿追町」）および株式会社バイウィル（代表取締役社長 下村 雄一郎、以下「バイウィル」）との間で、本日付で連携協定を締結しましたのでお知らせいたします。

本協定をもとに、鹿追町内で創出可能な J-クレジットをはじめとする各種環境価値に関する情報・ノウハウ等の共有や、新たなビジネスモデルの創出に取組み、三者が連携して地域のカーボンニュートラルの実現を目指してまいります。

記

1. 連携事項

- （１）環境価値に関する情報・サービス・ノウハウ等の提供
- （２）環境価値を活用した新たなビジネスモデルの創出
- （３）その他、本協定の目的に資すると当事者すべてが認める事項

2. 本協定締結に至った経緯

鹿追町は、2021 年 3 月に「鹿追型ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050 年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指しております。実現に向けて、家畜ふん尿由来によるバイオガスプラントを核として、発電や熱利用、水素製造など地域資源を生かした脱炭素の取組みを推進しています。

このような背景から当行は、J-クレジット創出事業を支援するバイウィルを鹿追町へ紹介し、本協定の締結に至りました。今後、バイウィルは森林由来の J-クレジット創出・販売をご支援する予定です。販売面では当行も協力し地域活性化を図ってまいります。

3. 連携協定式 ＜日時・場所：2026 年 7 月 29 日（水）10 時 00 分・鹿追町役場＞



【写真左から】

株式会社バイウィル
執行役員兼環境価値共創本部長 前田 哲志 様

鹿追町 町長 喜井 知己 様

北海道銀行 執行役員
十勝地区営業担当兼帯広支店長 堀 勝律

4. 該当する SDGs の目標



SDGs は Sustainable Development Goals の略称で、2015 年に国連で採択された 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは、2019 年 4 月に「SDGs 宣言」を表明しました。

以 上

＜本件に関するお問い合わせ先＞

北海道銀行 経営企画部サステナビリティ推進室 大西 Tel(011)233-1009
経営企画部広報 CSR 室 坂野 Tel(011)233-1005